

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月9日

上場会社名 株式会社マルハニチロホールディングス

上場取引所 東

コード番号 1334 URL http://www.maruha-nichiro.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 五十嵐 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長

(氏名) 川 文人

TEL 03-3216-0821

四半期報告書提出予定日 平成21年2月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	707,789	—	17,073	—	9,180	—	△281	—
20年3月期第3四半期	636,193	10.8	12,810	7.5	10,636	△6.6	3,652	0.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△0.71	—
20年3月期第3四半期	8.92	8.31

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	円 銭
21年3月期第3四半期	583,366	—	87,408	—	12.2	119.58	—	—
20年3月期	550,709	—	93,146	—	13.9	129.68	—	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 71,124百万円 20年3月期 76,476百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	3.00	3.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	915,000	8.3	19,000	46.1	9,500	29.9	△500	—	△1.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 508,574,884株 20年3月期 508,574,884株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 6,643,918株 20年3月期 5,696,758株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 502,610,219株 20年3月期第3四半期 403,910,564株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発する世界的な金融危機が世界的な景気後退に発展するなか、急激な円高、大幅な株式相場下落などを背景に企業の設備投資は減少し、消費マインドも悪化しました。

当社グループ関連業界のうち、水産・食品業界におきましても、景況感の大幅な悪化、雇用情勢の悪化に伴い個人消費は弱含んで推移しました。

このような状況のもとで当社グループは、今年度より新グループ中期三ヵ年経営計画「ダブルウェーブ21」をスタートさせ、グループ価値の最大化を目指しています。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は707,789百万円、営業利益は17,073百万円となりましたが、急激な円高に伴う為替差損などの発生により、経常利益は9,180百万円となり、固定資産減損損失及び商品在庫関連損失の発生などにより、四半期純利益は281百万円の損失となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

水産事業

水産セグメントは、国内外の漁業・養殖事業、すりみの生産販売を中心とした北米事業、海外調達ネットワークを持つ水産商事事業、市場流通の役割を担う荷受事業、市場外流通を受け持つ戦略販売事業から構成され、国内外の市場動向に注視しながら、お客様のニーズに対応した効率的な仕入と販売を行い、収益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間は、海外市場との競合による「買付価格の上昇」、燃料費・包装資材の高騰による「生産コストの上昇」等のインフレ局面から、世界的金融不安に端を発する「消費の低迷」「円高の進行」「燃油費の下落」等のデフレ局面へ、事業環境が大きく変化しました。

この環境下、好調な市況を背景に北米事業が好調に推移し、水産商事事業、戦略販売事業も堅調に推移いたしましたが、海外漁業会社の業績悪化や市況の低迷等の理由から、漁業・養殖事業、荷受事業が厳しい状況で推移しました。

以上の結果、水産セグメントの売上高は459,013百万円、営業利益は10,756百万円となりました。

食品事業

食品セグメントは、市販用及び業務用の冷凍食品の製造・販売を行う冷凍食品事業、缶詰・魚肉ソーセージ・ちくわ・デザート・ペットフードなどの製造・販売を行う加工食品事業、畜産物及び飼料を取り扱う畜産事業、化成品・調味料・フリーズドライ製品の製造・販売を行う化成品事業並びにアジア・オセアニア事業から構成され、お客様のニーズにお応えする商品の開発・製造・販売を通じて収益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間は、原材料価格の高値推移や、相次ぐ食品の安全に係る事件に加えて、世界的な金融危機により景気が悪化する中、消費者の節約志向や買い控えなどから厳しい環境の中で推移しました。

冷凍食品事業では、原材料価格の高値推移に加え、天洋食品問題やメラミンによる乳製品汚染事件などにより、中国産の食品を敬遠する動きが強く、中国産の調理冷凍食品や冷凍野菜の販売が低迷しました。

加工食品事業では、水産缶詰原料である「さば」、「いわし」や魚肉ソーセージ、ちくわの原料である「すりみ」の価格高騰を受け厳しい状況の中で推移いたしましたが、機能性ゼリー“ゼリーdeゼロ”や特定保健用食品のDHA入り魚肉ソーセージ“リサーラ”の健康関連食品が好調に伸長しました。

畜産事業においては、第2四半期までは順調に推移するも、10月以降、世界同時不況の影響による世界的な食肉需要減退と円高により海外産地と国内の食肉相場が急落、特にブラジル産鶏肉相場下落により収益が悪化しました。

化成品事業は、ヒアルロン酸や医薬用コンドロイチンが好調に推移しました。

また、アジア・オセアニア事業では、タイの生産工場が、第2四半期までは原材料の高騰、パーツ高、空缶材料の不足などの厳しい事業環境を余儀なくされたものの、第2四半期後半より原料エビの価格軟化による売上増や原材料価格上昇分の製品価格への転嫁が順調に進み、収益が改善しました。

以上の結果、売上高は226,560百万円、営業利益は7,665百万円となりました。

保管物流事業

中国産加工品の搬入減などによる貨物の取り扱い数量減、および景気低迷により貨物の荷動きも停滞した厳しい事業環境ではありましたが、水産物や畜産品の積極的な営業活動に取り組み、売上高は11,733百万円、営業利益は1,166百万円となりました。

その他の事業

売上高は10,481百万円、営業利益は766百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりです。

日本

原料価格、包装資材等の高騰、第3四半期以降は景気後退に伴う市況低迷の中、収益の確保に努め、売上高は643,411百万円、営業利益は14,627百万円となりました。

北米

燃料費の高騰等生産コストが上昇する中、漁業の効率化に努め、市況も好調に推移したことから、売上高は33,203百万円、営業利益は5,061百万円となりました。

ヨーロッパ

強みを持つ北米商材の市況が好調に推移し、売上高は4,737百万円、営業利益は108百万円となりました。

アジア

タイの生産工場が、第2四半期までは原材料の高騰、パーツ高、空缶材料の不足などの厳しい事業環境を余儀なくされたものの、第2四半期後半より原料エビの価格軟化による売上増や原材料価格上昇分の製品価格への転嫁が順調に進み、収益が改善した結果、売上高は24,231百万円、営業利益は932百万円となりました。

その他の地域

売上高は2,204百万円、営業損失は198百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は583,366百万円となり、前連結会計年度末に比べ32,657百万円増加いたしました。これは主として季節的要因等による売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

負債は495,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ38,394百万円増加いたしました。これは主として季節的要因等による仕入債務の増加及び長短借入金が増加したことによるものであります。

少数株主持分を含めた純資産は87,408百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,738百万円減少いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、手元資金並びに借入により得られた資金を、営業活動による支出を補ったこと等により、当第3四半期連結累計期間末には23,702百万円と前連結会計年度末に比べ2,525百万円増加いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は22,544百万円となりました。これは、季節要因における売上債権の増加、並びにたな卸資産の増加等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は6,149百万円となりました。これは主に設備投資による支出、並びに投資有価証券の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は30,934百万円となりました。これは主に営業活動による支出を補うため借入による資金調達を実施したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

（通期の連結業績予想数値の修正）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	930,000	19,000	14,000	2,500	0円61銭
今回発表予想 (B)	915,000	19,000	9,500	△500	△1円47銭
増減額 (B-A)	△15,000	—	△4,500	△3,000	—
増減率 (%)	△1.6%	—	△32.1%	—	—
（ご参考） 前期（平成20年3月期実績）	844,781	13,002	7,316	60	△0円40銭

当第3四半期連結累計期間における業績の動向等を踏まえ、通期の業績予想の見直しを行った結果、平成20年11月10日に公表しました平成21年3月期の連結業績予想を上記のとおり修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末におけるたな卸高算出については、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

① 税金費用の計算

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法に基づく低価法によっておりま

したが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法に基づく原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ199百万円減少しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は67百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ173百万円減少しております。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

国内連結子会社の機械装置の耐用年数の見積りについては、平成20年度の法人税法の改正を契機として見直しを行い、第1四半期連結会計期間より変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ164百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,533	21,983
受取手形及び売掛金	133,008	102,991
有価証券	1	4,569
商品及び製品	113,690	101,972
仕掛品	10,111	8,086
原材料及び貯蔵品	19,906	14,998
短期貸付金	2,177	2,027
繰延税金資産	5,076	4,823
その他	15,423	14,513
貸倒引当金	△2,666	△2,196
流動資産合計	321,263	273,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	56,449	60,098
機械装置及び運搬具(純額)	27,721	30,129
土地	64,087	65,534
建設仮勘定	2,254	1,396
その他(純額)	1,657	2,031
有形固定資産合計	152,170	159,190
無形固定資産		
のれん	20,604	21,642
その他	7,904	8,002
無形固定資産合計	28,509	29,645
投資その他の資産		
投資有価証券	34,493	35,418
長期貸付金	15,457	15,546
繰延税金資産	15,574	19,888
その他	27,346	28,179
貸倒引当金	△11,448	△10,929
投資その他の資産合計	81,423	88,102
固定資産合計	262,103	276,938
繰延資産	0	0
資産合計	583,366	550,709

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,098	38,613
短期借入金	223,534	203,735
未払法人税等	2,409	2,398
引当金	1,122	2,098
その他	34,926	34,708
流動負債合計	309,091	281,554
固定負債		
長期借入金	147,211	132,196
繰延税金負債	5,397	10,464
退職給付引当金	26,586	25,252
その他の引当金	440	1,148
その他	7,228	6,946
固定負債合計	186,865	176,008
負債合計	495,957	457,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,000	31,000
資本剰余金	45,227	45,216
利益剰余金	5,064	7,332
自己株式	△1,534	△1,324
株主資本合計	79,757	82,224
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,303	△2,226
繰延ヘッジ損益	△126	△175
為替換算調整勘定	△5,203	△3,346
評価・換算差額等合計	△8,632	△5,749
少数株主持分	16,284	16,670
純資産合計	87,408	93,146
負債純資産合計	583,366	550,709

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	707,789
売上原価	613,621
売上総利益	94,167
販売費及び一般管理費	
販売手数料	5,854
保管費	6,266
発送配達費	13,707
広告宣伝費及び販売促進費	3,444
従業員給料	17,201
法定福利及び厚生費	3,479
退職給付費用	2,694
減価償却費	1,229
研究開発費	694
のれん償却額	948
その他	21,571
販売費及び一般管理費合計	77,093
営業利益	17,073
営業外収益	
受取利息	375
受取配当金	929
雑収入	873
営業外収益合計	2,178
営業外費用	
支払利息	4,474
為替差損	3,382
持分法による投資損失	481
雑支出	1,733
営業外費用合計	10,072
経常利益	9,180

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
特別利益	
前期損益修正益	101
固定資産売却益	357
貸倒引当金戻入額	76
その他	155
特別利益合計	690
特別損失	
前期損益修正損	76
固定資産処分損	576
減損損失	1,031
商品在庫関連損失	970
その他	1,230
特別損失合計	3,885
税金等調整前四半期純利益	5,984
法人税、住民税及び事業税	4,533
法人税等調整額	468
法人税等合計	5,002
少数株主利益	1,263
四半期純損失(△)	△281

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	5,984
減価償却費	10,485
減損損失	1,031
のれん償却額	948
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,203
退職給付引当金の増減額(△は減少)	978
受取利息及び受取配当金	△1,305
支払利息	4,474
売上債権の増減額(△は増加)	△31,723
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,440
仕入債務の増減額(△は減少)	8,905
その他	1,707
小計	△18,749
法人税等の支払額	△3,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,544
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△2,986
投資有価証券の売却及び償還による収入	4,585
子会社出資金の取得による支出	△24
有形固定資産の取得による支出	△9,626
有形固定資産の売却による収入	1,192
貸付けによる支出	△1,445
貸付金の回収による収入	976
利息及び配当金の受取額	1,314
その他	△133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	31,145
長期借入れによる収入	42,770
長期借入金の返済による支出	△36,700
配当金の支払額	△1,722
少数株主からの払込みによる収入	30
少数株主への配当金の支払額	△217
利息の支払額	△4,283
その他	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,934
現金及び現金同等物に係る換算差額	285
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,525
現金及び現金同等物の期首残高	21,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,702

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	水産事業 (百万円)	食品事業 (百万円)	保管物流 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	459,013	226,560	11,733	10,481	707,789	—	707,789
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	16,912	4,122	3,635	471	25,142	(25,142)	—
計	475,926	230,682	15,368	10,953	732,931	(25,142)	707,789
営業費用	465,170	223,017	14,202	10,186	712,576	(21,861)	690,715
営業利益	10,756	7,665	1,166	766	20,354	(3,280)	17,073

(注) 1. 事業区分は主として内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要製品

事業区分		主要製品
水産事業	漁業、魚介類販売業、荷受業	冷凍魚介・すりみ・鮮魚
食品事業	食品加工・販売業	缶詰・冷凍食品・魚肉ハムソーセージ・畜産物
保管物流事業	冷蔵倉庫業、運送業	—————
その他の事業	海運業ほか	—————

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	643,411	33,203	4,737	24,231	2,204	707,789	—	707,789
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,038	24,825	—	8,022	1,380	37,266	(37,266)	—
計	646,449	58,029	4,737	32,253	3,585	745,055	(37,266)	707,789
営業費用	631,821	52,968	4,629	31,320	3,784	724,524	(33,809)	690,715
営業利益(又は営業損失)	14,627	5,061	108	932	△198	20,531	(3,457)	17,073

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

北 米 : アメリカ

ヨーロッパ : スイス、オランダ

ア ジ ア : タイ、中国、インドネシア、マレーシア

その他の地域 : マダガスカル、ニュージーランド

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	北米	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	34,794	17,465	14,997	4,971	72,229
II 連結売上高 (百万円)					707,789
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	4.9	2.5	2.1	0.7	10.2

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

北 米 : アメリカ、カナダ

ヨーロッパ : ヨーロッパ諸国

ア ジ ア : アジア諸国

その他の地域 : アフリカ諸国、オセアニア諸国、中南米諸国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	636,193
II 売上原価	565,412
売上総利益	70,780
III 販売費及び一般管理費	57,970
営業利益	12,810
IV 営業外収益	
1. 受取利息	420
2. 受取配当金	562
3. 外国為替差益	568
4. 持分法による投資利益	111
5. 雑収入	905
営業外収益合計	2,568
V 営業外費用	
1. 支払利息	3,839
2. 貸倒引当金繰入額	6
3. 雑支出	898
営業外費用合計	4,743
経常利益	10,636

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
VI 特別利益	
1. 前期損益修正益	118
2. 固定資産売却益	381
3. 投資有価証券売却益	5
4. 貸倒引当金戻入額	132
5. 訴訟和解金収入	507
6. その他	105
特別利益合計	1,250
VII 特別損失	
1. 前期損益修正損	270
2. 固定資産処分損	303
3. 減損損失	582
4. 貸倒引当金繰入額	386
5. 環境対策引当金繰入額	12
6. 過年度販売促進費	745
7. 統合費用	380
8. その他	495
特別損失合計	3,177
税金等調整前四半期純利益	8,709
法人税、住民税及び事業税	3,618
法人税等調整額	452
少数株主利益	986
四半期純利益	3,652

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,709
減価償却費	7,717
減損損失	582
のれん償却額	506
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△2,105
退職給付引当金の増減額(減少:△)	375
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	△1,024
受取利息及び受取配当金	△982
支払利息	3,839
投資有価証券売却損益(益:△)	51
有形固定資産売却損益(益:△)	△265
投資有価証券評価損	4
売上債権の増減額(増加:△)	△34,138
たな卸資産の増減額(増加:△)	369
その他流動資産の増減額(増加:△)	△1,021
仕入債務の増減額(減少:△)	8,152
その他流動負債の増減額(減少:△)	2,201
その他	2,898
小計	△4,130
法人税等の支払額	△2,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,194

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△3,944
投資有価証券の売却・償還による収入	3,599
新規連結子会社の取得による支出	△398
新規連結子会社の取得による収入	6,771
有形固定資産の取得による支出	△8,511
有形固定資産の売却による収入	884
貸付けによる支出	△1,229
貸付金の回収による収入	1,932
利息及び配当金の受取額	1,036
その他	△373
投資活動によるキャッシュ・フロー	△234
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額(減少:△)	20,765
長期借入れによる収入	38,756
長期借入金の返済による支出	△43,010
自己株式の取得による支出	△16
自己株式の売却による収入	9
配当金の支払額	△1,192
少数株主への配当金の支払額	△374
利息の支払額	△3,782
その他	△100
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,055
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	54
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	4,681
VI 現金及び現金同等物の期首残高	14,355
VII 現金及び現金同等物の期末残高	19,036

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	水産事業 (百万円)	食品事業 (百万円)	保管物流 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	452,008	166,516	10,686	6,982	636,193	—	636,193
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	14,225	12,078	3,946	461	30,711	(30,711)	—
計	466,233	178,595	14,632	7,443	666,905	(30,711)	636,193
営業費用	457,927	172,693	13,602	6,734	650,959	(27,576)	623,382
営業利益	8,305	5,901	1,029	708	15,945	(3,135)	12,810

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	581,216	28,974	4,362	19,508	2,131	636,193	—	636,193
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,813	18,757	—	10,214	1,608	33,393	(33,393)	—
計	584,029	47,732	4,362	29,722	3,740	669,587	(33,393)	636,193
営業費用	570,284	46,459	4,329	29,131	3,912	654,117	(30,734)	623,382
営業利益(又は営業損失)	13,745	1,272	33	591	△171	15,470	(2,659)	12,810

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	北米	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	26,879	16,068	20,628	4,895	68,472
II 連結売上高(百万円)					636,193
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	4.2	2.5	3.2	0.8	10.8